

2018 3.4月号 No.133

スミレとツマグロヒョウモン



ツマグロヒョウモン (メス)

西丹沢ビジターセンター

早春になると丹沢の各地からスミレの開花情報が入ってきます。ここ西丹沢では tachitsubosmire をはじめ eizansmire・hinasmire・marbasumire・tsubosmire・okasmire などが見られます。

そのスミレに来るツマグロヒョウモンは蛹で越冬し、そのスミレの葉に産卵をして孵った幼虫は葉を食べて成長します。近年の地球温暖化によって生息域が北上してきたので丹沢の山の上でも見られるようになりました。

メスは少し大きめで青みがかった模様のある蝶なのでわかりやすいです。スミレと一緒に探してみてもいいかもしれません。(澤田)



ヒナスミレ



タチツボスミレ



エイザンスミレ

【イベント案内】

秦野ビジターセンター

企画展「岩田伝三郎写真展 ～丹沢の先駆者の見た山たち 冬から春へ」

内容: 丹沢山山頂の初代みやま山荘建立者で登山家・写真家の岩田伝三郎氏が撮影した昭和40年代頃の写真を中心に約40点展示します。

展示作成: 岩田伝三郎さんを囲む有志の会

期間: 平成30年4月13日(金)～5月20日(日)

場所: 秦野ビジターセンター 展示室

※入館無料 開館中はいつでもご覧いただけます。

開館時間: 9:00～16:30

自然教室「野鳥観察はじめの一歩」

内容: さえずりに耳を傾けながら野鳥を探してみませんか? 基礎から野鳥観察のコツをお伝えします。

実施日時: 平成30年5月12日(土) 9:30～15:00頃

集合・解散: 秦野ビジターセンター

活動場所: 秦野戸川公園とその周辺

対象: 小学生以上

定員: 30名(応募者多数の場合は抽選)

参加費: 1人 500円

締切日: 4月26日(木)必着

お申込み、お問合せは秦野ビジターセンターまで

自然公園へでかけよう



環境省箱根ビジターセンター

〒250-0522 足柄下郡箱根町元箱根 164

Tel 0460-84-9981

<http://hakonevc.sunnyday.jp/>

県立秦野ビジターセンター

〒259-1304 秦野市堀山下 1513

Tel 0463-87-9300

<http://www.kanagawa-park.or.jp/tanzawave/>

県立西丹沢ビジターセンター

(旧西丹沢自然教室)

〒258-0201 足柄上郡山北町中川 867-2-9

Tel 0465-78-3940

<http://www.kanagawa-park.or.jp/tanzawave/>

開館日、開館時間等は各ビジターセンターまでお問合せください。



箱根ビジターセンター、秦野ビジターセンター、西丹沢ビジターセンターのFacebook ページ公開中! 是非、「いいね」をおして、最新の情報をご覧ください。

春の訪れ 箱根ビジターセンター

ようやく寒い冬が終り、日に日に春の訪れを感じる時期になりました。今年はどうなるものに会えるのか、どこに行こうかと考えただけでワクワクしてきます。

コツバメはシジミチョウ科で前ばねの長さは13~15mm、左右に開いた前ばねの先端の距離は25~29mm、食草(幼虫が食べる植物)はアセビ、ヤマツツジ、ガマズミなどの花やつぼみです。メスはツツジ類などの花や蕾に1個ずつ産卵します。年1回春に発生し、初夏には蛹になり、蛹で冬を越し翌春に成虫になります。



コツバメ

スプリングエフェメラル(春のはかない命の意味)と呼ばれており、成虫は早

春にしか会うことができません。

雑木林の周辺の明るい場所で見られますが、色が地味で小さいので気がついていないと見つけられず、また動きが早いのですぐ見失ってしまいます。もし小さくて黒っぽいものが飛んでいたらどこかに止まるのを待って、そっと近づいて観察してみてください。体を傾けて日光浴をしているかわいい姿が見られます。

箱根のサクラは堂ヶ島の桜公園・宮城野は早川沿いのソメイヨシノ、シダレザクラは4月上旬頃、湯坂路のヤマザクラ、オオシマザクラ、マメザクラは4月下旬頃に見頃を迎えます。今の時期にしか見られないものを探しに出かけましょう。(鹿野)



宮城野(早川沿い)



湯坂路のサクラ

春の日差しを浴びて 秦野ビジターセンター

厚いコートをめぎ、縮こまっていた背中や肩をのぼせる季節になりました。野山で暮らす生き物たちはどうしているのでしょうか?

集団で越冬していた「テントウムシ」

おびただしい数で、固まって過ごしていたテントウムシも、春の日差しを浴びて、自由に動き出しています。さあご飯探しの旅に出発です!

土の中にもぐって冬眠していた「ニホントカゲ」

日差しをたっぷり浴びて温まっている石の上で、日向ぼっこを

しています。お腹も背中も足まで伸ばして、ぼかぼかの日差しを満喫しています。「ちょっとお隣良いですか?ぜひとも一緒に日向ぼっこをさせてください。」と言いたくなってしまいます。

暖かくなったり寒くなったりを繰り返しながらやってくる春の訪れを、生き物たちは、敏感に感じ取っています。段々と賑やかになっていく野山に出かけてみませんか?きっと春を満喫している生き物たちに出会えますよ!(山口)



ナナホシテントウ



ニホントカゲ(幼体)